

税金の使い方

所沢市立美原中学校

三年 小野 真輝

九月に自民党総裁選挙が行われることになりました。これは日本のリーダーが代わるということです。これは私達の生活、お金、安全など、いろいろな事が変わるきっかけになると思っています。

私が税金と聞いて思いつくことはやはり消費税で、まわりの大人やニュースは消費税が10%になり生活が厳しいと言っています。そして、今までの私にとって税金の使い道は医療、教育などが身近なものでしたが、防衛費の増税が議論されているという話もニュースで聞きました。防衛費、つまり日本と国民を守るためのお金です。防衛費は法人税、所得税、たばこ税が財源になっています。ウクライナとロシアの戦争が始まってから二年以上がたち、戦争の様子が毎日のニュースで流れていて、まだまだ戦争は終わりそうにありません。戦争は嫌だけど、外国が攻めてきたときに身を守る手段は大切だし、税金で日本を守る準備をするというのは仕方のないことなのかなと思っています。

ただ、将来外国が攻めてきたときに身も守るために、今が苦しいというのはよいのだろうか。消費税が上がったり、生活保護費が減らされたりして生活が苦しいというニュースもまた、毎日流れています。国民を守るために税金を集めているが、税

金を払うと生活が守れないから、税金が高い、払いたくないと声をあげる人がたくさんいます。実際に食べ物不足したり、職を失ったりしている人もいて、日本を守るより国民を守る方を難しいのではないかと思ってしまうといます。みんなと生活を守るために、無駄をなくす、外国と仲良くする、給料を増やすなど、今の大人の人だけじゃなく、将来の私達がやらなければいけないこともたくさんあります。今回の自民党総裁選挙で総理大臣が代わることで、今よりもっと、生活も安全も守れるようになったり、みんなで作ることができたらいいなと思います。

本当はこうとも思います。防衛費は税金が財源になっています。この税金を防衛のために使うのではなく、みんなの生活のために使えば、もっと生きやすい日本に変わるかもしれません。でも、外国が攻めてきたときに身を守る必要があることもよくわかります。世界が戦争のためではなく、自分達の生活のために税金を使うことができれば、幸せになる人を増やすことができますと思います。どうすれば戦争がなくなるか、今の私達にはわかりません。でも、これから大人になる私達は、争いを減らし、税金を幸せのためだけに使うやり方を考えることができます。そして、そのやり方やよい税金の使い方を見習ってもらえるようにできたらいいなと思います。